

児童防犯教室 実施案

- 1 対 象 小学校1年生
- 2 実施時期等 任意（学校の状況に合わせる） 1時間（45分）
- 3 教室の形態 自教室での一斉指導
（大きな音・声を出すので、周りのクラスの支障になる場合は多目的室、音楽室など）
- 4 児童の状況（市内全般の様子）
 - ・ 市内小学校では、7月の「防犯週間」に、連れ去りなどの犯罪から身を守るための防犯標語である「いかのおすし」にちなんで「いか」を食材とした給食を実施している。
 - ・ 児童は、保育園、幼稚園でも「いかのおすし」を学習していることが多い。
 - ・ 標語の「いかのおすし」は知っていても、具体的な判断や行動と結びついていない。
 - ・ 「知らない人」を「不審者」と混同しがちで、無視などの過剰な対応を考えてしまう場合がある。
 - ・

「いかのおすし」 ①知らない人について「いか」ない ②知らない人の車に「の」らない ③「お」おごえを出す ④「す」ぐ逃げる ⑤大人に「し」らせる

- 5 学習の目的
 - ・ 防犯標語「いかのおすし」に沿って、クイズや具体例などを用いて犯罪被害に遭わないための考え方や行動を学習する。
 - ・ 「知らない人」とはどういうことか具体的に理解し、話しかけられた時の対応方法を学ぶ。（見た目や推測ではよい人か悪い人かを判断できない。知らない人を全て不審者と考えるのではなく、よりよく対応できるようになる。）

6 本時の展開（1時間／1時間）

時間	指導項目	学習活動	指導上の留意点	教材等
2分	導入	「いかのおすし」で連れ去りや怖い目に遭わないための勉強をします。	・自分で自分の身を守るための大事な勉強であることを説明。	
10分	いかのおすし の確認 ①知らない人について いか ない	標語を確認し、クイズ等で具体的に確認する。 クイズ 4人の顔写真を掲示し、ついて行ってよいのは誰か考える。 相談禁止で、○、×を挙手で回答し、それぞれ理由を聞く。 【正解：4人とも×】	・「優しそう」などの見た目の判断や、「だまそうとしている」などの推測の回答が出がちだが、「知っているか、知らないか」で判断するよう導く。	知らない人の顔写真（4人）

時間	指導項目	学習活動	指導上の留意点	教材等
4分	② 知らない人の車にのらない	<p>クイズ</p> <p>(1) 子犬を見に行こうと誘われた。車に乗ってよいか。</p> <p>(2) 家族が救急車で病院に行ったから、すぐ一緒に来てと言われた。乗ってよいか。</p> <p>【正解：いずれも×】</p>	<ul style="list-style-type: none"> どんな理由でも、知らない人の車に乗らないことを確認する。 車の近くにいると無理やり連れ込まれてしまうこともあるため、車から離れることも説明する。 	
7分	③ おおごえを出す	<p>実際に声・音を出して練習する。</p> <p>(1) 大きな声で「助けて」と叫ぶ。 (クラス全員、代表児童等)</p> <p>(2) 防犯ベル、防犯笛を鳴らす。</p> <p>防犯ベルがいざというとき使える状態か確認する。</p> <p>①すぐ鳴らせる場所（ランドセルの肩紐）に付ける（側面は手が届かないので×）。</p> <p>②電池があるか定期的に確認する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「キヤー」「ワー」は遊んでいる声と誤解され、助けがこない可能性があるため、「助けて」「やめて」と言う。 声が出せなくても周りに知らせることができる。 遊びで鳴らすといざというとき助けてもらえないのでベル等で遊ばない。 	防犯ベル 防犯笛
2分	④ すぐ逃げる	<p>近くの店や家、学校など大人がいるところに逃げることを確認する。</p> <p>「こども 110 番の家」を教える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 隠れると見つかった時に逃げられず危険なため、大人のいるところに逃げることを説明する。 	
7分	⑤ 大人に知らせる	<p>クイズ</p> <p>(絵を示してお話をする)</p> <p>夕方1人でいた男の子が知らない男に無理やり車に乗せられそうになったが、助けてと叫んだら男が逃げた。</p> <p>(1) 帰宅後の男の子の行動で正しいのはどちらか A 車に乗せられかけたことを話す。 B 遅くまで遊んでいたことを叱られないよう黙っている。【正解：A】</p> <p>(2) 不審者の特徴を2択クイズで出す。 ・帽子かメガネか【正解：帽子】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 絵を見せながらお話をし、正しい行動と不審者の特徴を聞く。 帰ったら<u>すぐに</u>大人に話す（すぐに、が大切）。 	お話のイラスト

時間	指導項目	学習活動	指導上の留意点	教材等
		<ul style="list-style-type: none"> ・服の色【正解：上着=緑、ズボン=青】 ・車の色【正解：黒】 ・車のナンバー【正解：1111】 	<ul style="list-style-type: none"> ・小さなことでも覚えていることを大人に話すことで警察等が見つかる手がかかりになることを説明する。 	
10分	知らない人に話しかけられた時の対応方法	<p>クイズ</p> <p>1人で遊んでいると知らない男の人が「〇〇はどこですか」と尋ねてきた。どうするか。</p> <p>【正解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人を呼ぶ…◎ 〔本当に困っている人なら待つが、連れ去ろうとする人なら逃げる。〕 ・その場で方向を指さして教える…○ ⇒知らない人とは<u>距離を保つ</u>。 ・自分で連れていく…× 	<ul style="list-style-type: none"> ・無視する、逃げる等の回答には、本当に困っていたらどう思うか考えさせる（知らない人≠不審者）。 ・自分で連れて行くという回答には、悪い人なら連れ去られる可能性を説明する。 ・人を助きたい気持ちは大切だが、体が小さいうちは大人の力に敵わないので、身を守ることを優先させる。 	
	知らない人との距離の取り方	<p>知らない人との話すときの距離の取り方を体感する。</p> <p>紐をピンと張り端をそれぞれ持って立つ。一方が近付いたら、他方が弛まないように離れて<u>距離を保つ</u>。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・急に大人が手を伸ばしても届かない<u>距離を保って話す</u>ことを説明する。 	140cmの長さの紐（なくてもよい）
3分	まとめ	<p>「いかのおすし」を復唱し、授業内容を確認する。</p> <p>自分の身を守るための「いかのおすし」をしっかりと覚えましたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・悪いことをする人はごく一部で、大半の大人は子どもを大切に考えていることを伝えられるとよい。 	

※本案の指導者の進行、板書等をセリフ形式にまとめた「進行シナリオ」あり

児童の日頃の「あいさつ」とつなげた防犯指導

地域でのあいさつは、防犯の面でも大切なことなので、あいさつ指導などに合わせて不審者から身を守る方法を指導する。（上記指導内容を短縮して授業に加えてもよい）

- 怖い目に遭いそうになったとき、防犯ベルがなければ、大声を出して助けを呼ばないといけないが、普段から地域の人に大きな声であいさつすることで次のような効果がある。
 - ▶ 大きな声を出すことに日頃から慣れる、いざというときに声が出しやすい。
 - ▶ あいさつで地域の人と顔見知りになれる。地域からも気に掛けてもらえる。
 - ▶ 犯罪者は顔を見られるのを嫌うため、手を出しにくくなる（あいさつは顔を見てするから）。